

Rich Dad

Robert Kiyosaki

Poor Dad

Letter 10月号
Part 2



成長し続けるグリーンエネルギー市場を見逃すな！ 大統領選後のエネルギーの未来と 今注目すべき3つの銘柄

第1部 ロバート・キヨサキ

- 1・エネルギーに関する主張：左派（リベラル派）
- 2・エネルギーに関する主張：右派（保守派）
- 3・両陣営にとって良いニュース
- 4・グリーンニューディールの目を背けたい現実
- 5・中国に頼らざるを得ない
- 6・ドットコムバブル
～ブームは起こり、崩壊し、また繰り返す～
- 7・バイデン主導のエネルギー時代の未来
- 8・オバマ時代の地熱バブル
- 9・私たちがすべきなのは現実を直視すること

10・グリーンエネルギーの財源は？

- 11・ジム・リカードが語る MMT の問題点
- 12・新たなキャッチコピー ESG
- 13・エネルギーの未来 カトゥーサ式
「GBOE：(Green Barrel of Energy)」
- 14・セブン・シスターズと BOE の起源
- 15・BOEからGBOEを活用する世の中へのシフト

第2部 トッド・"ブッパ"・ホーウィッツ

- 16・伝統的なエネルギーの終焉
- 17・臆病な投資家を出し抜き利益をあげる
3つの投資先

エネルギー議論の三面性

今日は、エネルギーの未来について議論しよう。

コインの片方ではグリーンニューディールを訴える人々がいる。もう片側では伝統的なエネルギー体制を望む人々がいる。

さらに、コインの縁に立っている人々もいる。今日はコインの縁に立って世界を見ている人物のうちの一人から話を聞こう。

政府は市場の過去の失敗から学んでいるか？

市場では、大きなキャッチフレーズの流行が頻繁に見られる。

一つの言葉やフレーズを企業の看板にして、米国政府を含む投資家たちが何億ドルものお金を投入するのだ。これらの流行産業は失敗することが多く、何十億もの民間資金と納税者の資金が無駄になっている。

今日は、このような過去のトレンドの事例をいくつか取り上げ、投資家が待望する新たなキャッチフレーズについて我々のチームのメンバーから聞いてみよう。

現実から目を背けてはいけない

未来への大きな夢を持つことはとても良いことだ。しかし、過去数十年の間に見てきた流行りの投資には大きな問題がある。人は、自分が気分の良くなるものを信じ、投資したいのだ。厳しい現実が好きではない。しかし、自分が苦勞して調べ、大きな目標の具体的な数字や計画を掘り下げようとする気があなたになければ、世界が前進することはないのである。

今日は、常に現状を変えてきた人からエネルギーの本当の未来を学ぼう。

読者の皆様へ

今日は、選挙を目前にしていることもあり、特に世界中で争点となっているエネルギーの未来について議論したい。

ここに1枚のコインがあることを想像して欲しい。コインの縁に立ち、そこから表と裏の両方を見ることが大切だと、私はいつもお伝えしている。

今日、コインの表面では**グリーンニューディール**^{*1}を訴える人々がいる。一方、コインの裏面では化石燃料産業にしがみついた人々がいる。

さらに、コインの縁に立っている人々は、世界の生態系や経済問題への解決策を探しており、その解決策を探すことで儲けているのだ。

今日はあなたに紹介したい人物がいる。彼の名前はマリン・カトゥーサだ。(以後、マリンと記載)

私は最近、投資家であり、ベストセラー作家であり、ヘッジファンドマネジャーであり、カトゥーサ・リサーチの創設者かつ会長でもある彼に話を聞いた。

彼は、世界で最も成功するリソースベンチャーキャピタルのファンドマネジャーの一人であり、北米最大ファンドの複数でも監督を行っている。

彼の成功の鍵は、精通する分野について、権威を持って話すことができる経験と知識を持っていること。そして現状の誤りを指摘するのを恐れないことだ。彼は、既存のシステムの誤りを見つけ、改善する方法を考え出し、既成概念を覆すという稀有な能力を持っている。

私のように、彼のキャリアを辿ってきた人は彼をコントラリアンと呼ぶ。それは、わざと他の有力な投資家と反対の投資をする人物のことだ。もっとひどい呼び方をする人もいる。マリンは、その理由を人々が厳しい現実を嫌うからだと言うが、私もそう思う。

Allied Market Research が発行した「タイプ別および最終用途別の再生可能エネルギー市場：世界の機会分析と業界予測、2018年から2025年」というタイトルの新しいレポートによると、再生可能エネルギー市場は2017年に9,280億ドルの収益を占め、2025年までに1兆5,123億ドルを生み出すと予測されている。市場は、2018年から2025年にかけて6.1%の年平均成長率が見込まれている。

※1 グリーンニューディール (GND: Green New Deal) : 米国において温暖化防止と経済格差の是正をもたらす形で行う経済刺激策のことを意味する。かつてルーズベルト大統領が世界恐慌に対応するために行ったニューディール政策を、環境問題と格差是正という今日的な課題の下で行おうというもの (国際環境経済研究所HPより)

しかし、エネルギーに関する議論の両側には根本的な問題がある。

第1部ではこの問題について読み解く。

① エネルギーに関する主張：左派（リベラル派）

リベラル派は、抜本的で即効性のあるグリーンエネルギー改革を望んでいる。しかし困ったことに技術的で詳細な計画を欠いている。

グリーンニューディールは、一見すると楽園のようなものだ。そのアイデアは聞こえが良く、人々を良い気分にするものだが、それは現実に基づいたものではない。グリーンニューディールで提示されている計画の多くは、具体的でも実用的でもないのだ。

また、グリーンエネルギーの生産者や、マリンのような資本家が予見している多くの物質的問題を無視している。

そして、資金調達の際にも問題がある。リベラル派は、金持ちへの課税を増額し、それを財源にグリーンニューディールの資金を賄おうとしている。金持ちが金持ちであるのは、彼らが合法的に脱税する方法を見つけているためであって、課税額を増やしたところで金持ちはまた合法的に脱税する方法を見つけるだろう。

そのため、グリーンニューディールは実際には私たちが生きている間に経済を崩壊させる危険性を持っている。または崩壊せずに持ちこたえることができても、計り知れないほどの借金を積み上げて資金繰りをする事になり、将来の世代に大きな負債を残すことになるだろう。

さらに、彼らは大規模なエネルギー目標を達成するために必要な材料は認知しているが、それを手に入れるために必要な手段については議論していない。

これらについては、後ほどお話しすることにしよう。

ここで、右派である保守派の問題点も忘れてはいけない…



② エネルギーに関する主張：右派（保守派）

保守派は目減りするリターン、つまり化石燃料に注目している。化石燃料を永遠に保つことはできない。化石燃料に頼っているのは地球を良い状態で将来の世代に残すこともできない。私は環境の専門家ではないが、私と同じくらいの歳の人であれば、地球がかつてのようにきれいな姿ではなくなってしまったことは誰でも認識しているはずだ。

私たちは、より良い世界を残したいと思っている。それは我が国の財政的な将来という観点だけでなく、人類の将来という観点からもだ。

保守派は何よりも政権運営に焦点を当てている。彼らの州の有権者の多くは、化石燃料の巨大な雇用市場を保有している。この市場がなくなれば、何千万人もの雇用が失われることになる。それは票稼ぎにとっても悪く、すでに不安定な経済にとっても悪いことだ。

よって、グリーンエネルギーとの戦いは負け戦になるだろう。

グリーンエネルギーは革新的であり、イノベーションとは適切に行われれば優れたものになるのだ。



③ 両陣営にとって良いニュース

両陣営にとって良いニュースは、我々が生きているのは絶対的な世界ではないということだ。左派と右派がお互いに叫び合うことをやめれば、誰もが勝者となる解決策があることに気が付くかもしれない。

マリンは、エネルギーの未来への鍵は多方面からのアプローチだと言う。全てをグリーンエネルギーにしたり、全てを化石燃料にしたりすることはできない。特に、一度にどちらかにすることなど、もってのほかだ。

良いバランスを見つける必要があるのだ。

グリーンエネルギー運動は正しい道を歩んでいる。グリーンな、そしてよりクリーンなエネルギーこそ未来を創るものだ。そして、素晴らしい投資のチャンスを見つけられる場所もそこにある。

人生を生き抜くための最良の方法、そして投資の最良の方法は、コインの縁に立つことなのである。

④ グリーンニューディールの目を背けたい現実

シャンパン社会主義者^{*2}（リベラル派の呼称）の問題点は、自らの手を汚さないことだ。

そのため、グリーンエネルギー構想の明白な問題に対処する代わりに、グリーンエネルギーの普及のために必要な要素を考慮できていない。

詳しく説明しよう。

グリーンニューディールの支持者はグリーンな世界を望んでいる。私たちは皆、将来の世代のために今日よりも良い世界を求めている。

しかし、知っておいて欲しい。

風力エネルギーと太陽エネルギーのみで電力を供給するためには、レアアース、銀、銅、コバルトなど、さまざまな高価な原料が必要になる。アップルやテスラなど、革新的なテクノロジー企業は、どこでこれらの原料を手に入れるのだろうか？

そう、中国だ。

⑤ 中国に頼らざるを得ない

以下の厳しい現実を考慮しなければならない。

- レアアースの90%以上が中国から供給されている。そのため中国政府は何年にもわたって、高騰し続けるこれらの資産の価格決定権を有している。
- 中国のレアアースの採掘方法は、北米の環境基準を満たしていない。
- さらに悪いことには、これらの金属の大量消費は道徳的問題でもあるのだ。コバルトは今でも中国全土で子供

※2 シャンパン社会主義者:イギリスにおいて、貧困・格差是正・難民受け入れなど口では「正義」「公正」「平等」などメディアで聞こえの良いことを言っているが、実生活は自らの富・地位・特権を維持したまま負担の忌避や負担そのものをしていない、二枚舌で偽善な左派を軽蔑・批判する言葉。左派的な主張と実生活とが矛盾している、ジャーナリスト・大学教授・政治家など上層階級として快適な生活環境で暮らす偽善者。各国に似たような言葉がある。

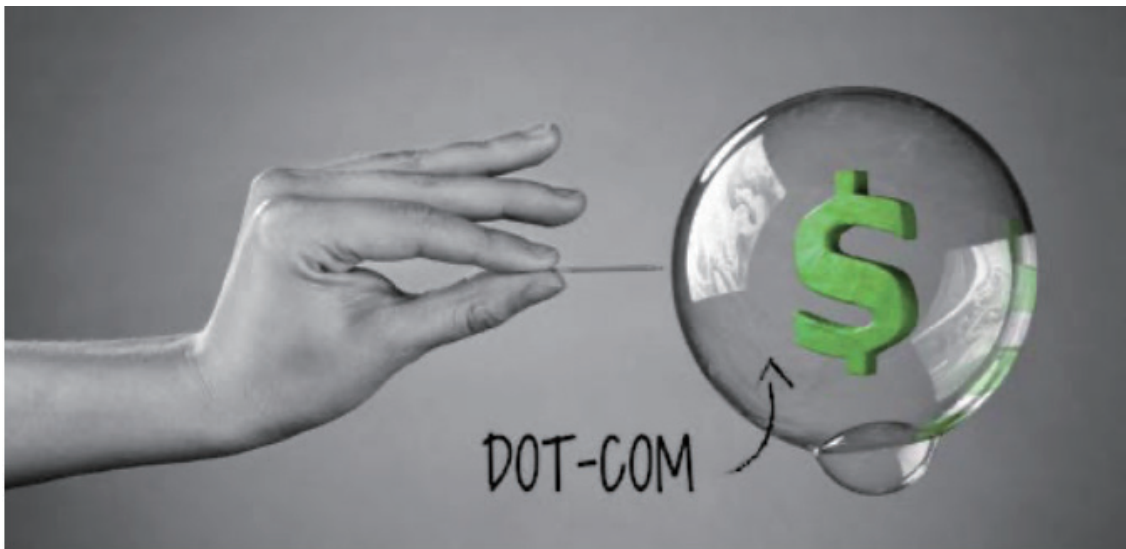
達によって採掘されている。

グリーンニューディールに関する議論の中では、このことについてはほとんど触れられていない。これらの詳細は「シャンパン社会主義者」が話したがらないものだ。なぜなら、グリーンニューディールが拠り所とする、聞こえの良いアイデアと相反するものだからである。

マリンはこれらの厳しい現実を掘り下げ、本当の解決策を考え出した。

彼が一番初めに語ることはおそらく、自身は完璧な投資家ではなく、投資で損をするたびに新しい何かを学んでいる、ということだろう。これは、いかなる投資や資産クラスにおいても教育の鍵となるものだ。実践することから学ぶのである。

我々は経験から学ぶのか？それとも、歴史の過ちを繰り返すのか？



⑥ ドットコムバブル ~ブームは起こり、崩壊し、また繰り返す~

あなたは1990年代後半のことを覚えているだろうか？

当時はドットコムバブルの絶頂期で、相場はどこまでも上昇し続けていた。名前に「ドットコム」がついている会社全てが順調だった。その企業が正当な価値を持っているか、強固な財務基盤や利益があるかどうかは関係なかったのだ。

ドットコムは熱いセクターだったので、メインストリートからウォールストリート、つまり世間一般の人から金融エリートまで多くの人々が参入を望んでいた。

そして、非常に過大評価された株価へと繋がった。これはよく知られた2001年のドットコムバブルの崩壊だ。

バブルは崩壊し、多くの人々が全てを失った。

これは、人々が自分たちが投資するものを十分に理解しないまま買ってしまったために起こったことだ。

そして、これが我々にさらに切迫した問題を引き起こす。

現在の問題に話を戻そう。

グリーンニューディールの問題は、現実とコストを正確に理解していないことだ。多くの民主党立法者はこのアイデアに完全に騙されているのだ。その実施、もたらされる効果や、現実的に何にいくらかかるかということに関しては、まだ説明していない。

大統領選挙まで残りわずかとなった現在、この問題はこれまで以上に切迫したものとなっている。

そして、ここである疑問が浮かび上がってくる。

⑦ バイデン大統領時代のエネルギーの未来

バイデン大統領になればエネルギーの未来はどうか？

選挙の日は目前まで迫っている。

今年の上院選はドナルド・トランプ大統領と民主党候補のジョー・バイデンの大統領選と同様に、国の方向性に大きな影響を与える可能性がある。 - USA Today

もしジョー・バイデンが勝利し、さらに上院で民主党が過半数を占めるようになれば、米国ではエネルギーの生産方法や消費方法が直ちに大きく変わることになる。

マリンが推測するように、洋上風力発電（海洋上における風力発電）に数十億ドルが投入されることになるだろう。そして、市場ではドットコム時代のようなインフレが起こる。

⑧ オバマ時代の地熱バブル

これはオバマ大統領時代の初期に見られたインフレと同様のものだ。

2009年初頭の市場で「地熱」という言葉を含むものは信じられないような価格で取引されていたことを覚えているだろうか？

政府は、民間のグリーンエネルギー企業数十社に数億ドルを注ぎ込んでいたのである。

しかし、ご存知のようにそれらは全て煙のように儂いようなものだった。人々は、持続可能であると思われるエ

エネルギーや技術に大きな自信を持っていたため、投資する必要があるのは、それらの企業のみで良いと思っていた。これもまた、何が本質的に良いかではなく感覚的に自分が良いと感じるものに投資していたのである。

当時、数学者であり投資家でもあるマリンは、ここで何かがおかしいことに気付いていた。

これらのぽっと出たグリーンな企業の評価額は、計算が合っていないことにすぐに気が付いたのである。彼は、これらの新しい企業は「完璧に成功した場合に基づいて設定された評価額」が付けられていたと説明する。

仮にこれらの企業が言った通りのものを、時間通りに、予算内に建設できたとしても、これらの新しい地熱関連企業の評価額はありもしない完璧な成功に基づくものだった。これらの企業は、具体的な物流や実行よりも、抽象的なアイデアに基づいて評価されていたのである。

しかし、そのアイデアは人々を良い気分にした。そして、ドットコムバブルのように歴史は繰り返されたのだ。銀行家（と米国政府）は椅子から飛び上がり、これらのグリーンなベンチャー企業に何億ドルもの資金を投じた。

何度も言うが、問題なのは、人々は自分たちが買っているものの現実を理解していなかったことだった。

マリンは問題を発見し、会計処理の誤りを指摘すると、この業界から非常に嫌われる存在となった。現実を見せつけてしまったからである。

私が最初に『金持ち父さん貧乏父さん』を発表した時と同様に、人々はマリンをクレイジー呼ばわりした。彼の気付きと発言は、人々の考える現状とは矛盾していたからだ。

しかし、正しかったのはマリンであることが証明された。

2010年代初頭に起こったソリンドラ（太陽光発電メーカー）の大失敗を忘れてはならない。ソリンドラの大失敗は、オバマ政権が政府の補助金を適切に管理できなかったことを示す、ある意味、輝かしい例として一部の人たちに注目されている。ソリンドラの倒産は5億3500万ドルの連邦政府保証付き融資を納税者に残した。しかし、ソリンドラの失敗それ自体は目を見張るものではない。コモディティ化した市場にイノベーションを導入する際には、常にリスクが伴うものだ。しかし未解決の大きな疑問は、警告の兆候があったにもかかわらず、なぜ失敗する前にこれだけの資本が必要だったのかということだ。

– USA Today

アバウンドソーラーは言うまでもなく、Ener1、レインジ・フューエルズ、A123システム…

これらの企業も全て、ソリンドラと同様に倒産した。

例を挙げればキリがない。何十億ドルもの税金が無駄になっているのである。

⑨ 私たちがすべきなのは現実を直視すること

ここであなたに面白い英語表現をご紹介します。

Sticking Your Head in the Sand Might Choke You

：砂の中に頭を突っ込むと窒息するかもしれない

Head in the sand とは、わざと現実から目を背けることを表す。

これは、ダチョウは危険が迫ると、砂の中に頭を突っ込み、現実を見ようとしないと言われるところから来た表現だ。しかし砂の中に頭を突っ込むと窒息する恐れがある。

つまり危険な現実から目を背けると、それは自分の首を締めることになりかねないのだ。

繰り返しになるが、私たちは厳しい現実から身を隠したいのだ。

私たちは、毎晩のニュースで報道されていることを受け入れたいと思っている。

学校に通い、一生懸命働き、良い仕事に就き、年金を得れば、生涯にわたって経済的に安全であるという、主流のお金のアドバイスを信じたいのだ。

政府がいつまでも、いつまでも、私たちの面倒を見てくれると誰もが信じたい。

そして、グリーンな未来のコンセプトと可能性は誰もが認めている。

グリーンエネルギーが大規模に存在することが不可能だと言っているわけではない。正しい方法でその未来を創造できるのかという問題なのだ。

私たちは厳しい現実を考慮に入れなければならない。

マリンは、最大の問題の一つは、理想的な未来のために必要な土台を構築することが非常に困難であることだと教えてくれた。これらのエネルギー源をうまく構築するには、多くの計算、お金、材料、場所、そして経験が必要だ。

持続可能なエネルギーの消費量を増やすためには、持続可能な財政を考えなければならない。

コストは重要だ。結果は重要だ。難しい数字は重要だ。

年金や確定拠出年金、社会保障を中心に人生を計画していたのに、突然そのお金がなくなってしまうたら、あなたは行き詰ってしまうだろう。

グリーンエネルギー創出の背後にある企業が、アイデアだけに基づいていればその企業は失敗するだろう。コンセプトの説明だけでなく、成果の証明や結果がなければ、投資家は投資を止め、政府は補助金を止め、お金は尽

きてしまうのだ。

そして、どうなるのだろうか？

何百万、何十億、何兆ドルものお金が無駄になり、その上、進歩も止まることになるのだ。物事のコストを見る際には、非常に慎重にならなければいけないのである。

ここで現在のグリーンニューディールの話に戻ろう。

⑩ グリーンエネルギーの財源は？

「グリーンニューディールのための資金不足は起こらないだろう…」

と言ったらあなたは驚くかもしれない。

提案されたグリーンニューディールパッケージの費用は、10兆ドルから100兆ドルになる可能性がある。

だが…

リベラル派は財源の増やし方は知らないかもしれないが、お金の作り方を知っていることは確かだ。

なぜなら、MMTがあるからだ。

MMT (Modern Monetary Theory) は現代貨幣理論の略で、マルクス主義の貨幣理論と考えることができる。これは、FRBが言い続けている「お金を刷る」という意味と同じことだ。

2008年、そして2020年に量的緩和 (QE) が強化された時と同じように気球に熱を送り始めたのだ。

私があなたにお教えすることができる MMT についての最も有益な (そして最も憂慮すべき) 説明は、私の友人であり同僚でもあるジム・リカーズから教わったものだ。

ジムは MMT とは何か、なぜ危険なのか、そのロジックの基本的な欠陥について、そしてシンプルでありながら不気味なその特異性を強調している。

一言で言えば、MMT とは無限の負債であり、市場に氾濫した「偽札」の印刷が横行することである。MMT 支持者は、それが機能している証拠として 2008 年の量的緩和を指摘する。

皮肉なことに、2008 年の危機は同じイデオロギーで住宅市場に生じた負債バブルによって引き起こされた。

さらに悪いことに、ほとんどの人はバブル崩壊から経済が完全に回復したと信じているが、量的緩和がシャドーバンキングシステムを生み出し、今ではシャドーバンキングシステムは世界経済全体を支配しているというもっ

と暗い現実がある。

(※シャドバンキングシステムについては、ニュースレター5月号をご参照ください。)

MMT 支持者はマルクス主義的なメンタリティを持っている。ご存知のようにマルクス主義は社会主義思想体系で、資本家が独占する資本を、社会の共有財産とすることを目的としているが、実は MMT から生み出されたお金は、世界で最も裕福である大銀行に利益をもたらしている。

ジムは、MMT 支持者はお金について根本的に誤解していると主張する。実際にはお金は信頼に基づいたものだ。インフレが沸点に達し、紙幣の価値がマッチで燃やせてしまうものよりも下がれば、全てが白紙に戻るのだ。

⑪ ジム・リカードが語る MMT の問題点

ジムは以下のように語る：

「お金への自信や信頼が失われた時、人々は急速に価値が下がっていくお金からなるべく早く逃げ出そうとする。それが、現代の貨幣理論全体が根本的に危うく、未来に崩壊が予想される理由だ。彼らはそのことを理解していない。

また、MMT 支持者は、インフレ率は自分の意思で調整可能だと思っているようだ。彼らは、インフレ率を下げることができると考えているが、実際にはできないのだ。一度定着したインフレ期待は払拭されないものなのである。」

実際のところ、世界の歴史上全ての不換紙幣は最終的に失敗してきた。

ドルは政府の約束によってのみ支えられている。しかし、もっと重要なのは、米国政府の約束に対する世界からの信頼だ。信頼が価値を生み出すのである。信頼が無くなれば当然、ドルの価値も下がってしまう。

MMT を実行すれば、信頼は危険に晒される。しかし、民主党はそれを望んでいる。なぜなら、MMT で好きなだけのグリーンニューディールの財源を生み出すことができるからである。

つまり、本質的な問題は、バイデン政権がグリーンニューディールに必要なお金を手に入れることができるか否かではない。世界経済に氾濫する大量に刷られた紙幣が、米ドルの信頼を失墜させるということなのだ。

次に、現在の市場での熱い話題についてお話ししよう。

ドットコムでもなく… 地熱でもないもの…

⑫ 新たなキャッチコピー ESG

ESG とは、環境 (Environmental)、社会 (Social)、ガバナンス (Corporate Governance) の略だ。これは、人々がお金を投じる近年の新しいキャッチフレーズだ。

人種間での問題や経済的な不平等、気候変動などが近年は重大な社会問題となり、金融機関はより公平で環境に配慮した世界を作り出すための貢献に注意を払うことが必要になった。

この結果、ESG ファンドが爆発的に増えた。

誰もがこの ESG を掲げるといって「社会的ライセンス」を取得することを望んでいる。そして、誰もがそれを有する会社に参加したいと思っている。

問題は、誰がその「社会的ライセンス」を発行するのかということである。

それは先に挙げてきたような、グリーンニューディールのためならば道徳的・環境的に標準以下の手段を用いることも厭わない、財政的に無責任なりベラル派だろうか？

それとも、有権者と金持ちの寄付者にアピールすることを重要視し、アメリカの経済と長寿のために可能な限り最高の未来に向かっていくことを軽視する保守派だろうか？

私はそのどちらにも期待しない。「社会的ライセンス」の取得というよりはむしろ形ある資産に焦点を当てたいと思っている。

あなたも私も、11月3日に起こることや、その後の展開をコントロールすることは不可能だ。しかし、自分自身の財政的な未来はコントロールすることができる。

イノベーションへの投資、具体的なデータを用いた教育的な選択。

これこそがエネルギー部門のあるべき姿なのである。

13 エネルギーの未来 カトゥーサ式「GBOE : (Green Barrel of Energy)」

先にご紹介したマリン・カトゥーサはエネルギーセクターにおいて活躍している。

彼は数学者であり、鋭い観察者であり投資家でもある。そして、石油、ガス、およびグリーンエネルギーのトレンドを察知する確かな能力を持っている。

彼はこれまでのキャリアを通して、常に自ら骨を折って投資の厳しい現実を掘り下げようとしてきた。数年前にエネルギーセクターが直面する問題を認識した際、優れた数学のスキルを用いて、グリーンエネルギーのための新たな会計方式を実際に作り出したのだ。

彼はその計算方式を「カトゥーサ式エネルギーのグリーンバレル (GBOE)」と呼んでいる。

少々ややこしい会計の話になるが、GBOE の未来を理解するためには、その過去について知る必要がある。

カトゥーサ式 GBOE は「BOE」の開発に端を発している。

14 セブン・シスターズとBOEの起源

石油換算バレル^{*3} (BOE) はエネルギー分野の投資家になるつもりであれば知っておくべき換算係数だ。

公式の目的を理解していただくために、マリンがカトウサー・リサーチのウェブサイト上で公開している説明を引用しよう。

以下カトウサー・リサーチより：

「BOEとは、業界では馴染み深い用語だ。石油およびガス事業を評価するために重要なツールである。たとえば、石油はもちろんのこと、天然ガスや、代表的なものは天然ガス液 (NGL) と呼ばれる炭化水素が豊富な鉱床など…

当たり前の話だが、これらの化石燃料はどれも価値があるが、全て異なるものだ。

そこで、石油換算バレル (BOE) は石油や鉱床などの異なるものの価値を比較するために作り出された。また、石油会社の価値も比較することが可能だ。

BOEとは、石油1バレル (42ガロン) を燃やしたときに放出されるエネルギーの単位である。あらゆる種類の化石燃料埋蔵量のBOE値を組み合わせることで、エネルギー会社の価値を割り出すことが可能だ。言い換えれば、BOEは石油会社・ガス会社という異なる業種の評価を比較可能にするものである。BOEは有用なツールであるが、その限界を知っておくことが重要だ。」

マリンとの会話のなかで、彼はBOEが誕生した本当のストーリーを語ってくれた。

BOEは、「セブン・シスターズ」(エクソン・モービル、シェブロンなどの大手石油会社) が現在のテクノロジーの巨人 (アップル、マイクロソフト、グーグルなど) と同じように、地政学の世界と財政界を牛耳っていた時代に誕生した。彼らは、石油を生産すればするほど埋蔵量が減っていくことに気付いた。そして、少しばかり帳簿を誤魔化すことにした。それこそBOEが誕生した本当の理由であるとマリンは断言する。

当時は、石油は失われつつあったが、ガスは依然として存在した。

セブン・シスターズの会計士らは、数学的な観点から天然ガスを石油としてバランスシートに載せる方法を考え出し、BOEを作ったのだとマリンは言う。

この新たな換算係数は、石油・ガス業界に大きな恩恵をもたらした。

実質的に一夜にして、全ての石油会社が帳簿上はより多くの埋蔵量を持つことになったのだ。

※3 石油換算バレル:石油換算バレル (BOE:Barrel of Oil Equivalent) は1バレル (約159リットル) の原油を燃焼させたときに生じるエネルギーを1ユニットとしたものである。原油換算バレルともいう。1BOEは原油の質により5.7GJから6.1GJと幅があるが、アメリカの国税局では6.1GJを使っている

彼らは投資家にビジネスが好調であると言い、石油換算バレルをわずか数年間で25%も増加させたのである。幹部の給料は上がり、行員の給料も上がった。皆が儲かっていたのだ。

マリンは、これが財務的な観点から見れば全く理にかなわないことを知っていた。しかし、このシステムが維持されていたため誰も気にかけることはなかった。皆が給料を貰い、直面している厳しい現実から目を背けることを良しとしていた。

マリンは言う。「私は最初にこの計算に目を向けるように言った者の一人だった。しかし、真実を求めている人はいなかったのだ」

さらに、マリンは他のトレンドにも気付いた。この明白な会計上の問題が表に出たら、石油会社は生き残るために石油や天然ガスだけに頼らずエネルギー生産を多角化する必要がある。

つまり、マリンはグリーンエネルギーや原子力に舵が切られると分かっていた。

⑮ BOEからGBOEを活用する世の中へのシフト

彼は2018年に研究と公式を発表している。

マリンが初めて幹部や頭取にエネルギー生産を多角化する必要があるという事実を投げかけた時、彼らは「アイデアは素晴らしいが、市場はそれを受け入れない」と言った。

しかし、2年弱経った今、大手石油会社がグリーンエネルギーへ転向しているのを目の当たりにしている。

BP（大手石油会社）がグリーンエネルギーに未来を賭ける。投資家は慎重な姿勢。

新CEOは英国のエネルギー会社を石油から離脱させ、風力および太陽光エネルギーからの収益を望む方向性だ。

—ウォールストリート・ジャーナル

石油から離脱しグリーンなエネルギーへのシフトを実行するためには、BOEが様々な種類の化石燃料から生み出されるエネルギーを同一の単位で測ったのと同様に、GBOEが太陽光や風力など再生可能エネルギーから生み出すエネルギーを、正確に測ることが大きな鍵となる。

太陽光や風力のような再生可能エネルギーは無限の資源だが、これらのエネルギー生産者は、正確に資源を把握し、バランスシートに追加し、最も収益性の高い現実的な方法で会計処理を行わねばならない。そして、会計処理は投資家にとっても理解出来る方法で行われなければならない。

マリンは語る。

「このトレンドの中では、大金を稼ぐチャンスがあるだろう。そして、同時に数々の間違いが犯されるだろう。多くの詐欺も起こるだろう。ロバートが言ったように、ソリンドラやオバマのグリーンドリームの中で起こった

ように、政府が多くの無駄金を使うことになるだろう。しかし、私が証明したようにここには信じられないほどの資産があり、それを利用する方法が存在する」

また、マリンは、トランプ政権またはバイデン政権の間に、優良なグリーンエネルギー銘柄は非常に良いパフォーマンスを発揮すると考えている。彼は「太陽光、風力、地熱は現在、現実には天然ガスや石炭に比べて経済的で競争力もある。さらに、グリーンエネルギーの生産コストは下がり続けるだろう」と説明している。

マリンはトレンド予測、投資、数学に長けている。彼の生み出した計算式は、今日のエネルギーの大転換点の中で大きな役割を果たすだろうと私は信じている。

そして最後に、当チームのアナリストであるトッド・"ブッバ"・ホーウィッツが、どの政権下でも利益を上げられると考えている強力なクリーンエネルギー企業3社をご紹介します。

この機会に学んだことを応用し、研究し、次の選挙の結果を恐れて自分の生活をコントロールできないような臆病な投資家を出し抜こう。

グリーンエネルギーは、今から数週間後に何が起ころうとも、経済的にも環境的にも私たちの未来において重要な役割を果たすことになる。

賢くプレーしよう。



ロバート・キヨサキ

トッド・"ブッバ"・ホーウィッツ アナリスト : Rich Dad Poor Dad Letter



投資家の皆様へ

エネルギーは、来るべき大統領選挙の主要な争点の一つである。

トランプ大統領は、「石油をどんどん掘れ！（Drill, baby, drill）、シェールガスを採掘しろ！（Frack, baby, frack）」と一貫して言ってきた。

トランプ政権下では、規制が撤廃されたことを受けて米国が世界有数の原油および天然ガス生産国となった。

現状、ジョー・バイデン前副大統領は世論調査でリードしている。（2016年の選挙では、選挙日当日までヒラリー・クリントンがトランプ大統領をリードしていた。まだバイデンの勝利だと思わないで欲しい。）

しかし、バイデンが勝利した場合には、エネルギー部門に大きな影響を与える可能性が高い。民主党は、はるかに厳しい規制と代替・再生可能エネルギーを今後数年間望んでいる。

一方で、テスラ（TSLA）をはじめとする電気自動車（EV）の普及台数は順調に伸びている。太陽光発電の住宅も増えており、企業はビジネスの動力源として再生可能エネルギーを追求している。クリーンエネルギーの波は勢いを増しており、11月の選挙の勝者に関係なく今後も上昇を続けるだろう。

大統領選の勝者に関係なく、以下のクリーンエネルギー事業の3社は優れた配当を提供し、今後数年間に渡って資本成長の可能性を秘めている。

つまり、今注目すべきはクリーンエネルギー分野なのである。

16 伝統的なエネルギーの終焉

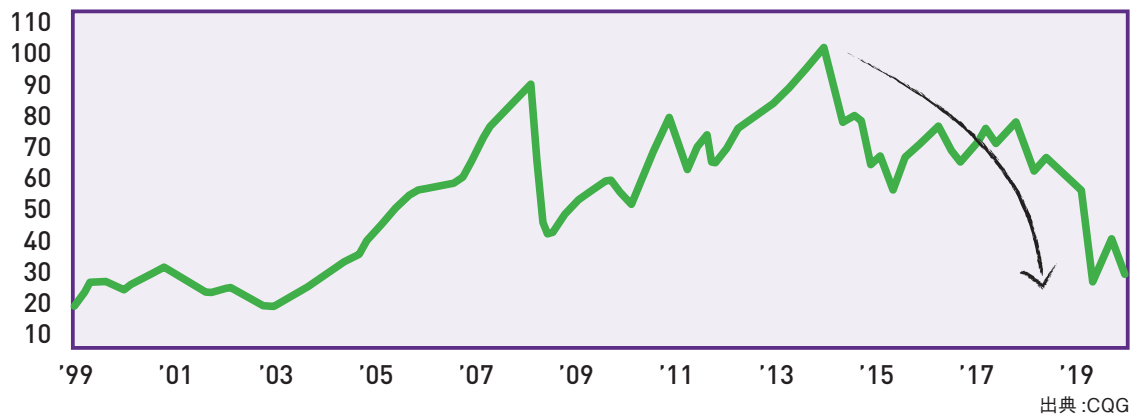
石油とガスはここ数年間、株式市場の嫌われ者だ。

8月には、ダウ平均株価はエクソンモービル（XOM）を除外し、シェブロン（CVX）がダウ平均株価に残された唯一の石油会社となった。エクソンモービルとシェブロンは安価だが、次代を担う存在ではない。

市場ではトレンドが常に最も重要だ。そして、伝統的なエネルギー企業のトレンドは低下している。

エネルギー・セレクト・セクター SPDR (XLE) の長期チャートでは、2014年以降、下落トレンドが強調されている。XLE は、エクソンモービルやシェブロンなどの大手石油会社の株式を保有している。

S&P500 エネルギーセクター SPDR (XLE)



上のグラフから、3月には XLE は 2003 年以來の最低水準で取引され、10 月 13 日には 30 ドルの水準で取引されたことが分かるだろう。

トランプ政権が化石燃料業界の将来に新たな希望を与えていたことを考えると、伝統的なエネルギー会社にとっては、このような状況は決して良い兆候ではない。実際のところ、化石燃料産業は永遠に続くものではない。

気候変動の脅威が政策立案者を急き立てていなくとも、化石燃料は再生不可能なものだ。クリーンエネルギーは、このカテゴリーで無限の優位性を持つ。そして、それらは日々、より安く、より簡単に入手可能になっている。

気候変動および環境に優しいエネルギー源への傾向は、炭化水素以外のエネルギー源から電力を生産する企業を支え続けるだろう。

石油およびガスもまた世界の電力を支え続けているが、化石燃料は石炭と同様にその役割が低下している。また、コモディティ大手のトラフィグラ・グループとグレンコアの 2 社は最近、石炭事業から自立的な撤退を発表した。

今後、数年の間に原油も石炭と同じ運命をたどることになるだろう。

実はサウジアラビアでさえ原油が過去の電力源になることを認識しているのだ。

サウジアラビアのモハメド・ビン・サルマン皇太子は「ビジョン 2030」の中で、原油収入への依存から離脱する方向性を打ち出している。また、アラムコの IPO により、サウジアラビアの政府系ウェルスファンドの規模を拡大するための資金を調達している。このファンドは今後数年間、原油収入のみに頼ることによってさらされるリスクを分散させるために、リターンをもたらす事業に投資していく予定だ。

繰り返しになるが、市場ではトレンドが常に最も重要だ。そして、エネルギーの方向性としては、二酸化炭素排出量を削減するクリーンな製品が好まれている。

このことを念頭に置くと、以下の 3 社は今後数年間に渡って成長していくことが見込まれる。

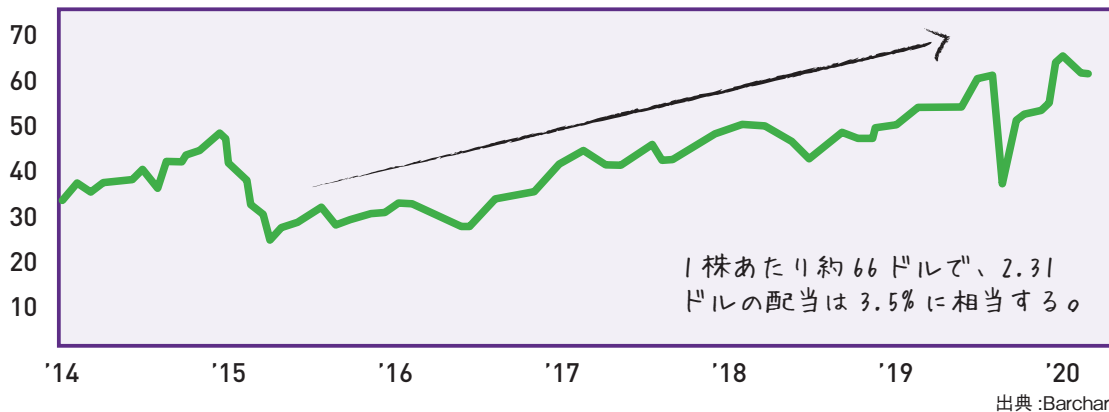
⑰ 臆病な投資家を出し抜き利益をあげる3つの投資先

ネクステラ・エナジー・パートナーズ (NYSE: NEP)

—クリーンエネルギー資産のポートフォリオと3%以上の配当金

NEP は、米国でクリーンエネルギープロジェクトを所有、購入、管理している。
また、風力、太陽光、天然ガスのパイプライン資産を保有する。
同社は 2014 年に設立され、フロリダ州ジュンビーチに本社を置く。

ネクステラ・エナジー・パートナーズ (NEP)



第3四半期末現在、同社の10月14日執筆時点での時価総額は40億ドル弱で1株当たり59.96ドルだ。一日平均568,052株が取引されている。

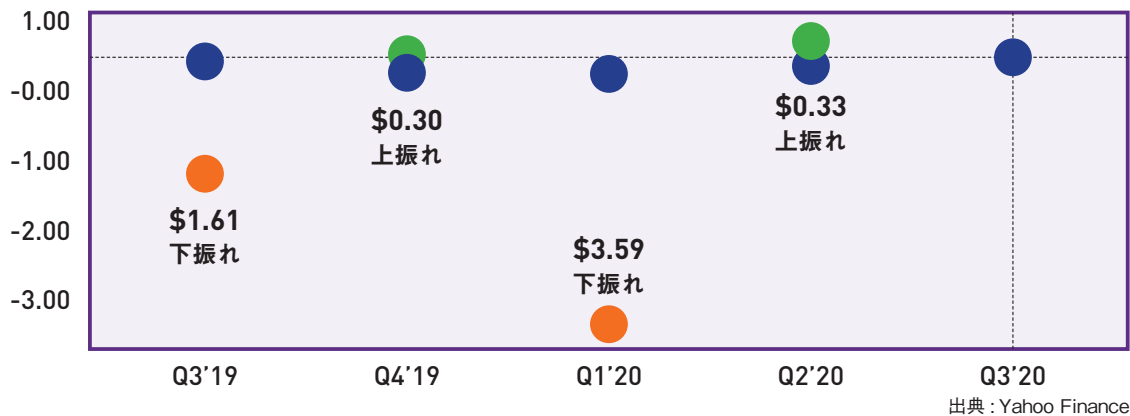
同社は2014年から上昇傾向にある。リスクオフ期間中の2020年3月に29.01ドルの安値をつけた後、10月9日に株式は68.39ドルの過去最高値を更新した。10月26日現在、株式は63～65ドル台で取引されている。強気パターンでの取引が続いており、直近のピークを大きく下回っていない。同社は直近の第4四半期を通して収益にばらつきが見られた。2019年第3四半期と2020年第1四半期には、同社の収益はアナリスト予想を大きく下回った。2019年第4四半期と2020年第2四半期には、予想をわずかに上回る収益を報告した。

第3四半期のコンセンサス（市場）予想では、1株当たり42%の利益を見込んでいる。

ヤフーファイナンスのアナリスト16人を対象とした調査では、株価のレンジは55ドルから74ドルで、目標価格は63.25ドルとなった。

ネクステラ・エナジー・パートナーズ (NEP)

● EPS (1株あたり利益) の市場予想 ● 上振れ ● 下振れ



9月30日、ジェームズ・ロボ最高経営責任者 (CEO) はデューク・エナジー・コーポレーション (DUK) が敵対的買収に乗り出すことはないと言った。

しかし、煙のある所には火があることが多いように、大手企業がクリーンエネルギー資産の取得に走るエネルギー分野において、同社は潜在的なターゲットとなっている。

直近の高値付近につけているが、私はNEPには強気で70ドル台以上まで押し上げてくる可能性が高いと考えている。同社の株式を購入する場合は、64ドルで指値注文を設定し、エントリーする前に最近のピークから下落する余裕を与えておくことをお勧めする。

アクション

ネクステラ・エナジー・パートナーズ (NYSE: NEP) を64ドル以下で購入。56ドルで逆指値の売り注文を設定する。70ドルまで到達したら売却しよう。

エクセル・エナジー (NASDAQ: XEL) : 利回り 2.5%の再生可能エネルギー

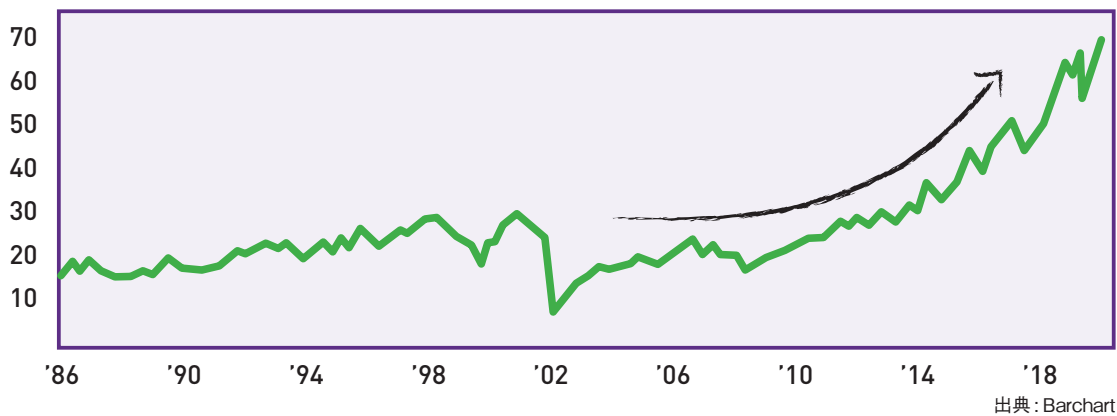
エクセル・エナジーとその子会社は、発電、買取、送電、配電、販売を行っている。

同社は、石炭、原子力、天然ガス、水力発電、太陽光、バイオマス、石油、木材・ごみ、風力などの発電源を利用して発電を行っている。

また、パイプライン、貯蔵、圧縮設備を通じた天然ガス事業にも取り組んでおり、約 370 万人の顧客に電気を、210 万人の顧客に天然ガスを販売している。

同社は 1909 年に設立され、本社をミネアポリスに置く。

エクセルエナジー (XEL)



同社の 10 月 14 日執筆時点での時価総額は 382.9 億ドルで、1 株当たり 72.89 ドルだ。毎日平均 234 万株以上の取引がある。1 株当たり 1.72 ドルの配当金は 2.36% に相当する。

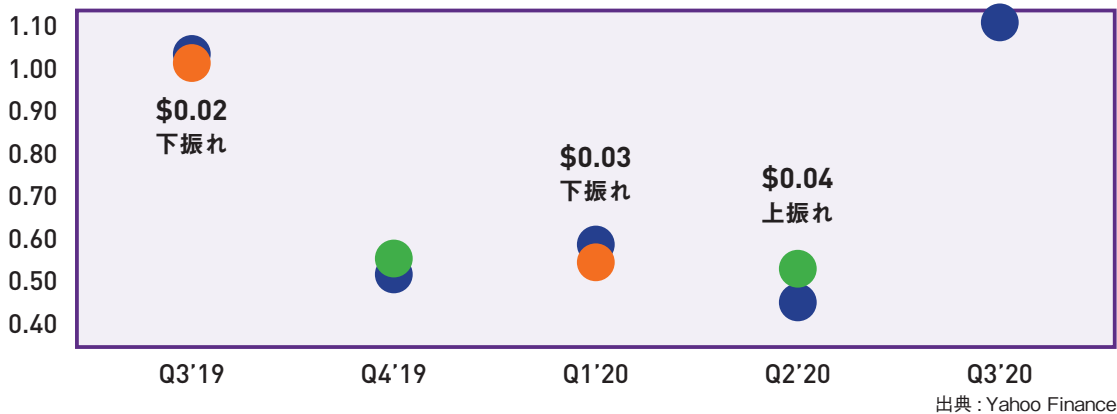
業績は、アナリストの EPS 予想に近い数字になる傾向にある。

同社は過去 4 四半期連続で利益を報告している。

2019 年第 3 四半期と 2020 年第 1 四半期には逃したものの、2019 年第 4 四半期と 2020 年第 2 四半期の収益報告では、予想を 6 セント上回った。第 3 四半期の予測は、1 株当たり収益平均 1.09 ドルで、直近の予想の倍にもなる。

エクセルエナジー (XEL)

● EPS (1株あたり利益) の市場予想 ● 上振れ ● 下振れ



同社は2020年以降、右肩上がりの推移を見せている。

10月26日現在、71～73ドル前後で取引され、過去最高値のすぐ下で取引されている。

株価は、コロナウイルスの蔓延に端を発した売りが最高潮に達していた3月に46.58ドルまで下落した。

同社はクリーンエネルギーに焦点を当てているため、グリーンエネルギーのリスク分散先を探している投資家にとっては有力候補となる。

アクション

エクセル・エナジー (NASDAQ: XEL) を74ドル以下で購入する。
67ドルで逆指値の売り注文を設定する。80ドルまで到達したら売却しよう。

クリアウェイ・エナジー (NYSE: CWEN)

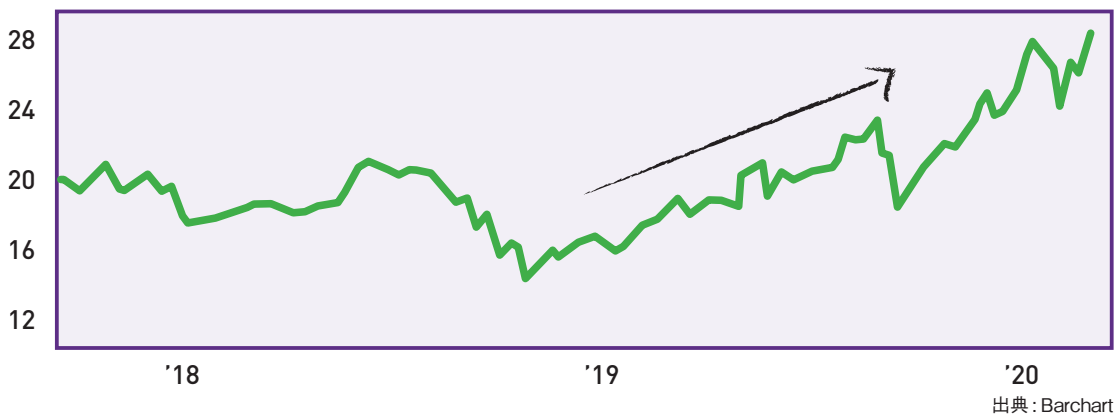
: 4.5% 以上の配当金を支払うクリーンエネルギー会社

クリアウェイ・エナジーとその子会社は、再生可能エネルギーと従来型発電・熱インフラプロジェクトを取得、保有、運営する。

同社の10月14日執筆時点での時価総額は56億4,500万ドルで、1株当たり29.5ドルだ。また、毎日平均594,000株が取引されている。

同社は、株主に1.25ドルの配当金を支払っており、4.64%に相当する。一方で、同社は直近の4四半期に渡ってアナリストの予想を下回っている。

クリアウェイ・エナジー (CWEN)



業績に関しては、2019年第3四半期から各四半期ごとにコンセンサス（市場）予想を下回っている。

しかし、2020年第3四半期のコンセンサス（市場）予想は、1株当たり79セントのEPSを見込んでいる。

アメリカの金融メディアである Seeking Alpha（シーキングアルファ）によれば、ウォールストリートのアナリストは株式の見通しについて中立的な立場をとっている。

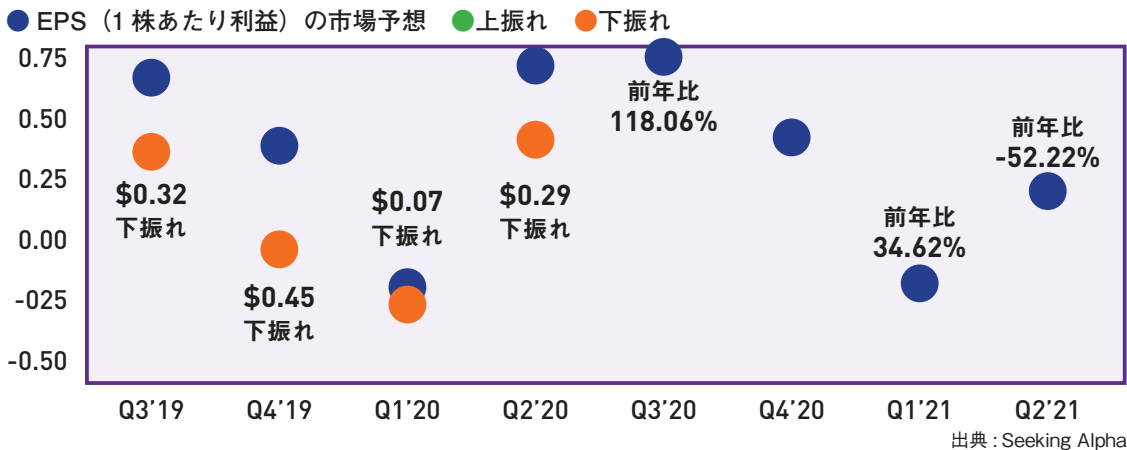
同社の株式は2019年2月以来、大幅な安値と高値をマークし、10月9日には直近の最高値となる31ドルに到達した。

10月26日現在、29ドル前後で取引されている。

同社は今後数ヶ月から数年にわたって配当を増やす戦略を取っている。

第2四半期の決算発表の中で、クリストファー・ソトス最高経営責任者（CEO）は、「2021年末までに最高値を更新し、5～8%の長期的な配当成長率を引き続き目標としている」と述べた。

クリアウェイ・エナジー (CWEN)



配当金の上昇は同社の株価を支え続けるはずだ。

アクション

クリアウェイ・エナジー (NYSE: CWEN) を 32 ドル以下で購入する。
24 ドルで逆指値の売り注文を設定する。40 ドルまで到達したら売却しよう。

勢いを増すグリーンエネルギーの恩恵を受けたいと考えている人は、これら 3 社をポートフォリオに加えることを検討していただきたい。

これらの企業は、低価格で財務内容が充実しているだけでなく、魅力的な配当金を支払い、継続的な資本成長の可能性がある。

ネクステラ・エナジー・パートナーズ、エクセル・エナジー、クリアウェイ・エナジーは、グリーンエネルギービジネスにおける強力な 3 社だ。

クリーンエネルギーの需要が高まる中、この 3 社の株式を購入することで魅力的な結果が得られるだろう。

トッド・"ブッバ"・ホーウィッツ

※米国株と日本株の取引の違いに関する編集部解説は Rich Dad Poor Dad Letter 9 月号パート 2 をご参照ください。

編集部解説

今回のレポートで、再生可能エネルギー、グリーンエネルギー、クリーンエネルギーと翻訳している部分は、いずれも環境に優しいエネルギーのことであり、以下のような使い分けとなっています。

再生可能エネルギー：再生可能エネルギーは、基本的に耐えず補充されている電源から生成された電力のこと。理論的には、このタイプのエネルギーは決してなくなることがなく、大気に損傷を与える化石燃料やガスなどの再生できないエネルギー源よりもはるかに有効です。再生可能エネルギー源は「自然」であり、風力発電やソーラーパネルなどが含まれます。

グリーンエネルギー：グリーンエネルギーは、風、水、太陽光などの天然資源から生成される電力として定義されます。ほとんどのグリーンエネルギー源は再生可能ですが、全ての再生可能エネルギー源が完全にグリーンであるとは限りません。例えば、水力発電は再生可能ですが、大量に発電するプロセスは実際には環境に優しいものではないと主張する人もいます。これは巨大な水力発電ダムを建設するには森林破壊を伴うためです。

クリーンエネルギー：クリーンエネルギーは使用時に大気を汚染しないエネルギーと定義されます。石炭や石油などを燃やすと温室効果ガスや大気汚染物質が出ますが、クリーンエネルギーは対照的です。大気を汚染しない、という定義のため原子力発電もクリーンなエネルギーといえることができます。

それぞれの概念は似ていますが使い分けとしては、

再生可能エネルギー：枯渇しないエネルギー

グリーンエネルギー：自然源エネルギー

クリーンエネルギー：大気を汚染しないエネルギーと捉えていただくと良いでしょう。

< 免責事項 >

- ・ 当社の商品、およびコンテンツは、お客様の投資判断や運用戦略のご検討にあたり参考となる情報の提供を目的として作成されたものであり、実際の投資等に関わる最終的なご決定はお客様ご自身のご判断で行って頂きますようお願い致します。
- ・ 当社の商品、およびコンテンツは、お客様の投資におけるいかなる利益も保証するものではなく、また、投資の結果によってお客様が思わぬ損害を被る可能性もあるため、投資を行われる際にはお客様ご自身で投資のリスクを慎重に検討されますよう併せてお願い致します。
- ・ 当社の商品、およびコンテンツに掲載されている情報は、当社が信頼できると判断した情報源から入手した情報等によっておりますが、当社がこれらの情報の正確性等について、全て、独自に検証しているわけではありません。当社はこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何らの表明又は保証をするものではありません。当社は、当社の商品、およびコンテンツの内容及び提供、並びにお客様による第三者への開示等について、お客様その他当社の商品、およびコンテンツの閲覧者に生じた一切の損害、損失又は費用について、損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害結果損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含め、これらについて債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何を問わず、何ら責任あるいは義務を負わないものとします。
- ・ 当社の商品、およびコンテンツ中における、シミュレーションやバックテストについては参考データ等のご提供を目的として作成したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。

Rich Dad Poor Dad Letter 10月号 - Part2

発行日 2020年10月
著者 ロバート・キヨサキ
発行者 寺本隆裕
発行所 APJ Media 合同会社
大阪府大阪市中央区南船場2丁目5番12号
クリスタファイブ 10F

©2020 APJ Media, LLC All rights reserved.

※この電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。